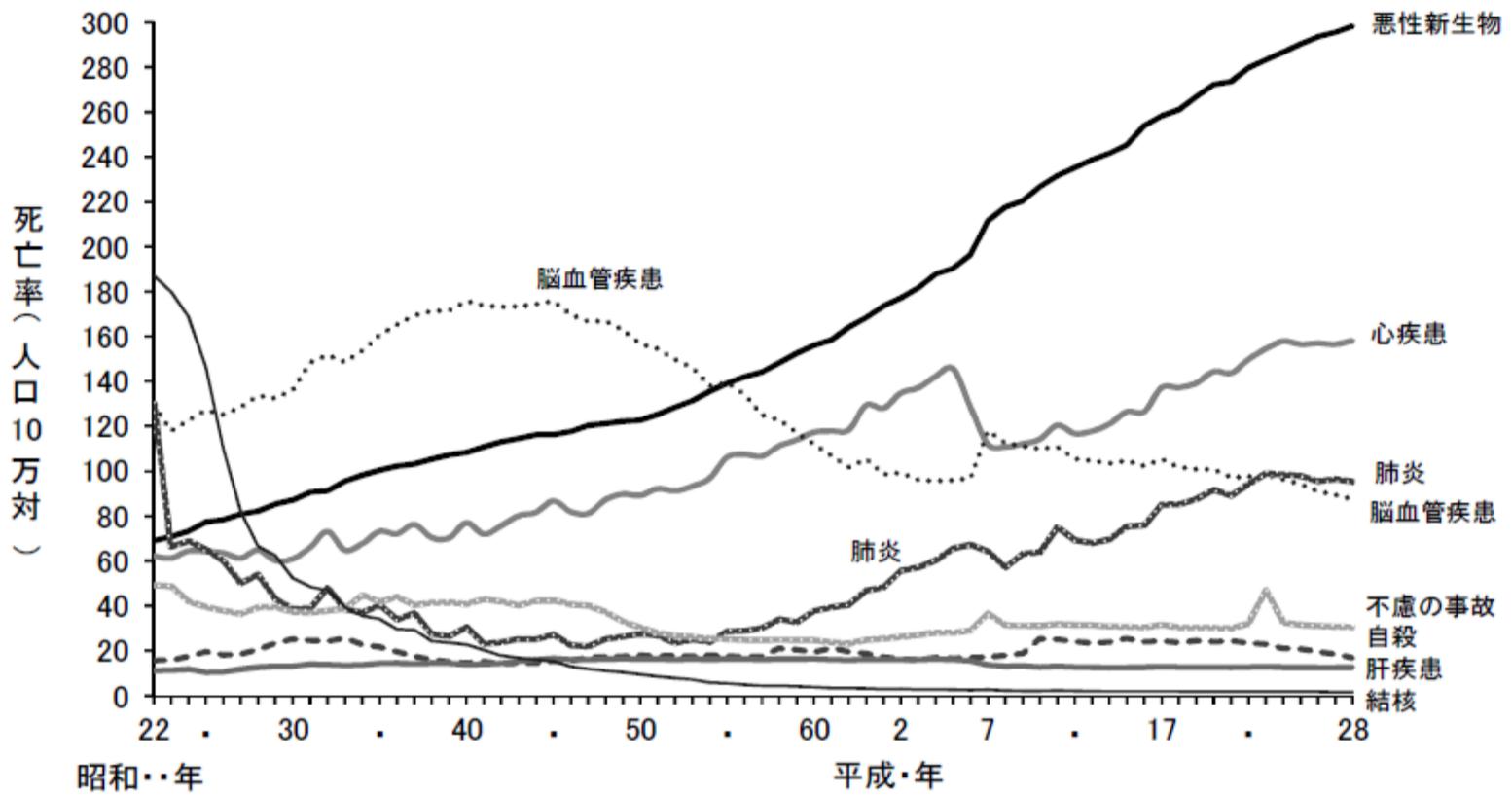
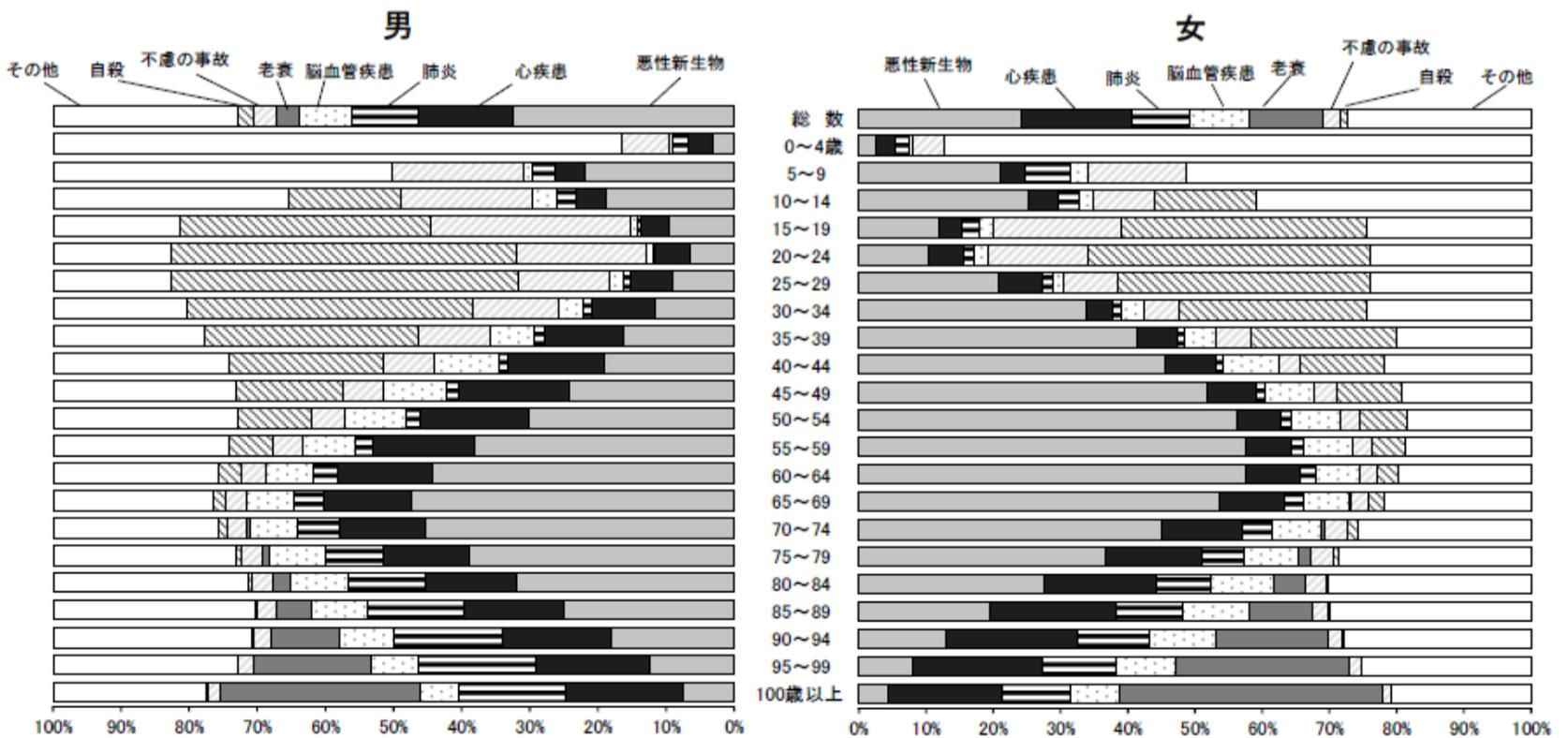


図6 主な死因別にみた死亡率（人口10万対）の年次推移



注：1) 平成6・7年の心疾患の低下は、死亡診断書（死体検案書）（平成7年1月施行）において「死亡の原因欄には、疾患の終末期の状態としての心不全、呼吸不全等は書かないでください」という注意書きの施行前からの周知の影響によるものと考えられる。
 2) 平成7年の脳血管疾患の上昇の主な要因は、ICD-10（平成7年1月適用）による原死因選択ルールの特長によるものと考えられる。

図7-1 性・年齢階級別にみた主な死因の構成割合（平成28年）



出典：厚生労働省 平成28年 人口動態統計月報年計(概数)の概況